

【状況】

大学の朝一番の講義室が舞台。話し手の女子大生は、朝に弱く一限目の講義にことごとく出席できていない。聞き手の同期学生(男女不問)に代返やノート取りで借りを作っては奢りで返す間柄だが、それだけに親しい関係。この日は珍しく起きられて開講に間に合ったということで、ウキウキで登場するが……？

【ガイド】

黒字:台詞

赤字:注釈、演技指示

青字:聞き手の反応

緑字:その他の補足

【本文】

おっはよー！

隣空いてるー？座るねー。

えっへへへ～。(自慢げに笑う)

間に合った間に合った、間に合っちゃいましたー。どう？ビックリした？

いやあ気持ちいいもんだねえ、朝早起きして動くってのはさ。

穏やかな日差しに、小鳥のさえずり。まさに一日の始まりって感じ——

(当たり前のことだと突っ込まれる)

——え？

や、まあ、当たり前っちや当たり前かもしれないけど……

あの寝坊常習犯のあたしが、一限^{いちげん}に出席してるんだよ？

素晴らしい成長だとは思わない？奇跡と言ってもいいかもしない。感動の瞬間。

(反応が薄い。相手はスマホをいじっている)

むうー……

とにかくめでたいんだからさー、ねえもっと褒めてよー。ねえってばー。

スマホばっかり構うなー！画面の中に囚われるなー！

お布団の束縛から抜け出してきたあたしを見習えー！いたっ！

(小突かれ、大人しくするよう言われる)

あーんもうわかったよー。大人しくしてます……。

さて……なんせご無沙汰の講義だからね。

よし、ここは始まる前のスキマ時間でキッチリ復習を……

……あ、ハイ、そうです。あなた様がとてくださったノートの写しでございます。

それはもうありがたく使わせていただきます、感謝感激雨あられってことで、へへへ。

へへ……えへへ……

……

(少しゴマスリ風の笑いを続けながら、相手が再びスマホを向き直ったことを確認して徐々にノートを読む段階に移行する)

………… (ノートに目を通すも、よく分からぬ。という状況で漏れ出る声 例:「んう……」)

心の声:

うつわ～……しっかり要点がまとまってる、っぽいのは分かるけど……

肝心の内容がこれっぽっちも理解できぬ～！

い、今までサボ……休んでたツケは大きいな……。

(声を掛けられる)

……ん?あ、ああ、そろそろ始まるよね、知ってるよ。

(ショックに気を取られていて何と話し掛けられたか分からなかつたので、当てずっぽうな返事)

(ノートを読んでいるとき青い顔をしていたことを指摘される)

え？あたしそんなスゴい顔してた？まっさか～！ (焦り気味)

体調？いやいや全然大丈夫だって！へーき！元気！

とりま準備しよ、ほらそのスマホもしまってさ。

いやー久々で気合入るなー！学生の本分^{まつと}全うしちゃおつかなー！なんつってー。

～♪ (チャイム) 講義開始

心の声:

Oh……だめだわこれ……。覚悟はしてたつもりが甘かったわ……。

……全っ然何言ってるか分からぬんですけど～！

え、日本語だよね？言葉は分かるのにここまで中身が意味不明なことってある？

集中して聞いてればなんとかなると思ったのに……トホホ……。

(ここから少しずつ眠そうになる)

ノートとろうにも謎の単語がとつ散らかるだけだし……てか読めない……

……あ、あれ……？いかん、視界がぼやけてきた……。ね……眠い……。

ふあ…… (あくび)

心の声：

よく考えたら、いつもはまだ寝てる時間だったわ……そりや、眠いのも当然だよね……。

あたしが一限を受けようだなんて、無理な話だったんだ……

ああ……なんか遠くでぶつぶつ言ってるけど……それが……むしろ……ん…… (寝落ち)

スー……スー…… (寝息)

～♪ (チャイム) 講義終了

(起こされる)

スー……スー……んあ？

ん？あれ？

(周りが退出して行っている様子を確認する)

えと……もう、終わった感じ？ (アクセント:もう↓)

……あたしもしかして……。

(「寝てたよ」と告げられる)

ですよねー……やっぱり……。

ま、まあ大丈夫っしょ！確かにこの講義、出席だけで可は貰える楽^{らくたん}單でしょ？

これからも寝坊さえしなければひとまずは……え？

(「今回は提出必須の課題が出た」と告げられる)

か、かだい？ひ、ひひひひっす！？

ちょ、ウソ、待ってそれマジ？ (あからさまに動搖する)

た……た……助けてください！お願いします！！

(「どうしようかな～」的な態度をとられる)

お、お望みのものは何でございましょうか！

とりまいつものいっときます？この時間ならまだ選び放題だと思うし！ (生協売店のスイーツ)

あそだ喉乾いてない？自販でも売店でも、言ってくれれば買ってくるよ！？全然！

あとそれから！今日のランチは全額あたし持ちでオッケーってことで！誠意の一食！！

(「もう一声」みたいな雰囲気)

………… (切り札を出すか出さまいか、葛藤の最中で漏れ出る声 例:「んぐ……」)

……ううう分かった！前から欲しがってたポルックスのライブ限定グッズ！！好きなのひとつ差し上げます！！
お願ひしますどうかこれで手を打っていただけないでどうか……！

(笑われる)

ちょ、ちょっと！

笑わないでよ！必死なんだよこれでも！！

(さっきのは冗談で、課題など出でていないことを告げられる)

……は？冗談？

課題、なんて、なかった……？

は？は？は？はア～～～ッ！？

さてはからかったな？もてあそんだな？このあたしをー！！

(また笑われる)

このバカー！鬼畜！残酷！ひとでなし！

マジでめちゃくちゃ焦ったんだからね！？洒落にならないよ！？感謝料もんだよ、感謝料！！

分かる？分かるよね？分かったらさっき言ったの、逆に全部あたしに奢れ～！！